

■ 令和7年度 第3回 秋葉区自治協議会

日時：令和7年6月27日（金）午後1時30分～

会場：秋葉区役所6階 601・602会議室

1 開会

2 あいさつ

（渡邊会長）

それでは、開会のあいさつを第1部会の村上委員からお願いいたします。

（村上委員）

皆さん、こんにちは。山の手コミュニティ協議会の村上と申します。開会にあたり一言ごあいさついたします。今日は、心にブレーキをかけてみて、すごく大切だなと思った感じたことを3分ほどお話しさせていただきます。

先月、5月は、約1か月間、奈良県で生活をしていました。朝、昼、夕方等、移動がほぼ徒歩だったので、毎日2万歩以上歩いている生活でした。新潟に帰ってきてからも、健康のためと美味しくお酒を飲むためにこれは続けようと思って、新潟に帰ってきてからも、今も続けて歩いているのですが、ただ歩いているだけだと面白くもないので、いろいろな通学路を歩きながら危険個所がないかなとか、そういう場所を見ながら歩いています。歩いているといろいろなことに気がつくのですね。きれいな花が咲いていたり、あるいはごみが落ちていたり、何気ない日常が垣間見えるのですけれども、一番気づいたのは、すれ違う人とあいさつしたり、また畑仕事をしている人と会話をしたり、買い物に行ったときに知り合いと出会ったら、最近歩いているのを見ますねと言って会話が生まれたのですね。そのことによって、地域の悩みであったり、人と人とのつながりの関係の悩みであったりをすごく聞く機会が増えました。今まで忙しくしていて、私は猛スピードを出して車で移動したり、心も余裕がなくて、目的地に向かって全速力で進んでいたのと、すごく思いました。心にブレーキをかけたことによって、周りの意見を聞くことができたり、自分自身も落ち着いて物事を考えられるようになったのと、すごく今感じております。例えば、急いでいると、ありがとうと言われても、私も急いでいたら聞き流すわけではないですけれども、そんなに人の温かさというか、その言葉の込められる思いは感じられなかったなと思っていて、歩きながらふとごみ拾いをしていたりするとご苦労様とか、そういう声がすごく胸にすっと入ってくるようになったのと

感じています。

私たち自治協議会は、地域のことや仕事のことなどいろいろと忙しくてバタバタもしていると思いますが、心にブレーキをかけてみて、地域住民の声を聞き、区民が主体的にまちづくりにかかわってもらえるよう、区役所と連携して、引き続きサポートできたらなと思っております。以上です。ご静聴ありがとうございました。

委員自己紹介

(渡邊会長)

村上委員、ありがとうございました。

それでは、本日、若月委員も初めてのご出席ということですので、ごあいさつをお願いいたします。

(若月委員)

遅参して申し訳ございません。新津青年会議所からまいりました若月要でございます。前期、第1部会でお世話になった皆様、また、第2部会でまたお世話になりますので、皆様、また今期もよろしくおねがいします。

(渡邊会長)

ありがとうございました。

3 議事

(1) 区政運営にかかる評価について

(渡邊会長)

それでは、次第に基づきまして進めさせていただきます。最初に次第の3、議事、区政運営にかかわる評価について、長崎区長より説明をお願いいたします。

(区 長)

皆さん、こんにちは。座って説明させていただきますけれども、頭を書いてあります「区政運営にかかわる評価について」ということで、参考意見聴取ですから、皆様方からご意見等をちょうだいできればと思います。

昨年度、令和6年度の秋葉区の組織目標、そしてそれを実施しての実施状況について、実際にその目標に達成したかどうか、皆さんから見ていただきたいと思います。資料は、ホチキス留めしてありますけれども、資料1-1、1-2が昨年度のものになります。

まず、秋葉区の目標としましては、組織の目的、方向性は、区ビジョンまちづくり計

画に将来像として書いております「里山と水に囲まれて花と緑あふれる笑顔咲きそろうまち」を実現するというものでありまして、その下の段は総合計画の指標ですので読み上げません。その下の段、秋葉区の組織目標としまして、今ほどお話しした区ビジョンのまちづくり計画に基づきまして重点目標を五つ、下のほうに掲げさせていただきました。基本、秋葉区には五つの課がございますので、課の一つずつ目標を設定し、それを重点目標ということで整理をしております。

最初のアキハスプロジェクト、二つ目として区役所の区民生活課、1階ですけども、窓口サービスにおける市民満足度、そして3番目は健康福祉課になりますけれども、各種施策の取組について2ページ目以降で具体的にお話しします。4番が産業振興課が取り組みます交流人口、関係人口の取組ということになります。そして5つ目が建設課が行っております新津川、能代川ですとか、秋葉公園のリニューアル、クリーン作戦ですね、それに関する内容です。

めくっていただきまして、それぞれの達成状況を書いております。まず、最初の重点目標の1「アキハスプロジェクト」ですけども、達成状況は一部未達成ということになります。取組は書いてあるとおりのんですけども、詳しくは資料1-2の少し後ろになりますけれども、横書きのものをを見ていただくと、本当はホチキスを取って一緒に見たほうが見やすいのんですけども、横書きのものを見ていただきたいと思います。地域総務課が1番になりますけれども、右のほうの真ん中辺りに評価が三角になっていることが一部未達成ということでありまして。未達成の中身というのは、その左のほうに指標で令和6年度の目標が移住検討者及び移住者からの相談の件数を30件としていたのんですけども、実際に相談に来られた方は11件だったということで一部未達成ということにしております。ただ、その下の移住コンシェルジュの人的ネットワークの構築、要は待っていても移住の相談は増えませんので、いろいろなところに出かけて行って、端的に言いますと、近隣市町村の地域興し協力隊ですとか、移住の取組をされている団体のところに出向いて行って、関係づくりをしながら、来られる人はざくっと新潟県とか新潟市の付近とかという形で来られるので、秋葉区だけで抱え込む必要はまったくないので、近隣と相談しながら、場合によっては相談者の方も近隣の方におつなぎしたりして、そういう形で回数を増やしたということがございます。目標達成状況に詳しく書かせていただきましたが、ここで少し特徴的なのが、昨年、東京農業大学生に来ていただきましたが、おかげさまで今年も約20人が来る予定になっておりまして、昨年までは体験観光ツアー的な、ある意味モニターツアー、ご招待的なことだったのんですけども、今年来る20人は自費で来ます。かつ、やはり農大生なので、農園実習、農業生産

実習をしていただくということにしております、そのうちの一人が、東京の方ですが、今、新潟市で就活をして、こちらに移住する気満々で来ていただくことが決まっております。区内の農業生産者の方々には、実習を通じてぜひ大学生を担い手として育ててほしい、将来的には通い農であったり、インターンであったり、場合によっては将来的に就農、事業承継につなげたいと、区としてはそういう考えですよというお話をさせていただいております。地域総務課については、以上となります。

二つ目の目標、区民生活課になりますけれども、一部未達成というのが、やはりその横書きを見ていただくと、平均点4.6点以上を目指していたのですが、前期、後期とももう少し足りないというアンケート結果になっております。結果について課内でも協議をして、何が足りなかったのか、やはり満足度を得られない原因というのがいくつか散見されておりますので、これを今年はさらに改善を図るために研修をしたり、あるいはお客様を待たせないような、そういう対応にすることで臨んでおります。

3番目、健康福祉課になります。健康福祉課も一部未達成ということで、取り組むものが六つ、少し多かったのですけれども、六つあるうちの未達成だったものが、横の表の上から3段目の「子育てサポーターの訪問希望割合」、いわゆる母子手帳が交付された方々に訪問をして相談にのりますよ、アドバイスをしますよということを伝えているのですけれども、希望者数が目標値までいかなかったと。原因については、発行したのだけれども区外に転出された方が数名おられたりとか、やはり第2子の方々はもう一人育てているのでご遠慮しますということで、目標設定値が少し難しい設定をしてしまったなという印象がありまして、こちらについては今年度で一応終了の予定にしております。また、横書きの3ページになりますけれども、小学校6年生を対象としたジュニアドック、これも90パーセントの理解度というか、満足度ですね、目標にしたのですけれども、親御さんは97.9パーセントで高い満足度、理解度だったのですが、お子さんたちにはもう少しというところでありました。こちらについても、一定の取組、そして参加者数がありましたので、取組としては昨年度で終了しておりますが、ただ、若年肥満はその後の生活習慣に直結することになりかねませんので、これは引き続き学校を通じたり地域の健康相談等で周知を図っていくということで考えております。

続きまして、産業振興課になります。産業振興課は、一部未達成なのが「マウンテンプレーパーク」でして、目標50人というのが私も設定のときから高すぎるのではないかと言っていたのですけれども、それでやってみるということでしたので、実は放課後児童クラブの副会長の佐々木さんにもご相談をして、各小学校にも営業をかけて何とか数は上がったのですけれども、やはり天候悪化の影響が非常に大きくて、冬が早かった

ということで12月の開催を取り止めたり、何よりも夏の酷暑、35度を超えるようなときは危険ということで中止をしたり、そもそも開設しても集まらなかったりということが響きまして、実質的な数字が伸びなかったということです。その下の観光案内所は伸びていますけれども、こちらは特にSLが発券するときに規程の開設時間ですと案内所に入れなくて広場にはぐれている、行き場のない乗車客たちがいたものですから、SLが走る日だけは案内所の開設時間を早めて、来場者を増やしたということでございます。それぞれ数字に関しては、令和7年度、今年度に関しては、過去3年の平均値を上げることで、そもそもその目標値の設定自体が判然としませんでしたので、そういう改良を加えております。

最後に、建設課になります。建設課につきましては、新津川、能代川及び秋葉公園のクリーン作戦ということで、こちらは達成をしております。441人という、目標が350人でしたので、大幅に上げましたけれども、言葉の頭にSDGsという言葉を付けたおかげで、学校教育的な響きが非常によかったと思っております。これは、終わりに情報提供しますけれども、春のクリーン作戦もやはりSDGsを付けたら約1,000人プラスしたことがありましたので、先生方、あるいは親御さんへの響き方がこういう結果につながったと思っております。

ということで、一部未達成、達成と、少しまだら模様になっていますけれども、それらを含めまして令和7年度の組織目標を設定しております。説明としては参考ということになっておりますけれども、少し見ていただきたいと思います。資料1-3、そして資料1-4ということで、令和6年度の目標よりは少しスリムにさせていただきました。

地域総務課につきましては、先ほどお話ししました移住の関係については二つを合わせたうえでの15回という形にしまして、最低月1回は取組をしましょうということでの設定にしましたし、2番目は、バスの乗車数を学生の乗車数、令和6年度は、6月1日から始めまして3,654人乗っていただきました。令和7年に関しては、4月1日から既に始まっておりますので、その2か月分を加味する形で4,400人という、かなり高い目標を設定しております。

2番目の区民生活課は、令和6年と同じ内容ではありますが、昨年度達成できなかった4.5点を超えようということで、すでに研修等を始めているところであります。

3番目、健康福祉課に関しましては、後ほどご案内がありますけれども、「アキハ移動式子どもの居場所づくり」というものをこの7月4日にまさに始めますので、一つの目標値として1回当たり20人という設定をして、年間で180人を目標に実施いたし

ます。スタートの数字ですので、正直、高い、低いというのはやってみないと分かりませんが、これがベースになりまして、来年度以降は明確な目標値が設定できると考えております。

裏面になりますけれども、産業振興課に関しては、令和6年度でもお話ししました「マウンテンプレーパーク」、そして新津駅前の「観光案内所あ！キハ」の目標値に関しては、先ほど説明しましたとおり、過去3年間の平均値を設定値ということで目標値を出しております。新潟薬科大学との連携事業というのは、定性的な部分かもしれませんが、八つは確実にやりますということで、実際、何人参加するかというのは大学側のカリキュラムによりますので、本当はそこを設定値、目標値にしたいところではありますけれども、それをしてしまうと、今度、大学がプレッシャーを感じてしましますので、そこはあえてせずに、ですけれどもたくさん来てねということでの組織目標に掲げた部分であります。

最後に建設課になりますが、建設課も過去3年ということで計算をし、昨年よりも高い目標値を掲げさせていただいての400人ということであります。ここに関しては、クリーン作戦だけではなくて、主な取組の概要に書かせていただきましたけれども、秋葉公園のリニューアルのコンセプト作りを区役所の若手と昨年からは始めておりますので、ぜひ皆様方からも、先ほど会長からも少しご意見、ご提案をいただきましたが、今、秋葉公園の高い木を、高木を切っております。理由は、雪で倒れたり、老朽化して、昨年あったのですが、車を大破するような倒木があったりして、民家側に倒れそうな高い木から今切っております。そうしますと、その後、やはり区民の皆様から電話がかかってきて、木を伐り過ぎではないかというお叱りをいただいているのですが、これから新しく植えていきますので、ぜひご意見をくださいということでお話ししておりますので、ぜひ自治協委員の皆さんからもご提案、ご意見をいただければと思っております。

私からの説明は、以上になります。よろしくお願いいたします。

(渡邊会長)

ありがとうございました。では、区長の行った自己評価に対するご意見ということで、ただいまのご説明について、ご意見、ご質問等はございませんでしょうか。どうぞご遠慮なく。

すみません。私から1点よろしいでしょうか。資料1-2になりますが、資料1-2の1です。地域総務課の移住検討者及び移住者からの相談件数と移住コンシェルジュの人的ネットワーク構築と会議開催があるのですが、実際にその移住コンシェルジュの人的ネットワーク構築と会議開催という指標なのですが、実際に行われている内容

には関係人口の創出というところがすごくたくさん入ってきております。ですので、もし可能でしたら、この評価指標と事業の対応性ということを考えると、関係人口の増ということになるので、組織目標としても「関係人口増」という言葉を入れていただいたほうが、皆様が理解しやすいのではないかなと思うのですが、いかがでしょうか。

(区 長)

ありがとうございます。おっしゃるとおりで、その上の段、目標達成状況の一番上のところの一番最後に書かせていただいたのですが、移住コンシェルジュの方々には移住、定住ではなくて、移住交流関係づくりを中心にしてくださいということでお話をして、いきなり移住、ないしは定住というのはハードルが高すぎるということで、今、会長がおっしゃられるように関係人口の創出のところからを入口にして、そこが豊かになれば、結果として移住者、あるいは頻繁に来ていただける方が増えるとお話ししておりましたので、少しそこは見直しをさせていただきたいと思います。ありがとうございます。

(渡邊会長)

ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。

(長谷川委員)

今の移住の件なのですけれども、移住希望者がいらっしゃるということで、非常にありがたい話なのですが、そういう希望者があった場合は、市で援助といいますか、支援の策というのは決めていらっしゃるのでしょうか。

(区 長)

ありがとうございます。今回の場合は、大学生だと就職に関係する交通費等があるというような状況です。手厚い移住の支援金というものになると、基本、子育て世帯がかなり手厚くありますので、その場合はご紹介をしてサポートさせていただいているという状況です。

(渡邊会長)

長谷川さん、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

(長谷川委員)

はい。けっこうです。ありがとうございました。

(渡邊会長)

ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。今のことに関連してでも、違う点についてでも。

(佐々木委員)

佐々木です。すみません。少し教えてください。関係ないかもしれないのですが、移住される方で秋葉区に住みたいという方はサポートがあるということなのですが、就農で秋葉区に現在アパートとかに住んでいらっしゃる方、これからお家を建てようかなと考えていらっしゃる方へのサポートというのはあるのでしょうか。ここでお聞きして申し訳ありません。

(区 長)

ありがとうございます。移住という形態だと、補助が出しやすいのではありますが、現在住んでおられる方がとなると、該当するのがないという状況です。ただ、ほかにもいろいろなメニューがありますので、例えば空き家だったら県の空き家再生の補助などもあります。子育て世帯向けのものであったりしますので、そういうものはご相談いただければ、ご要望に叶えられるかどうかは確実ではありませんけれども、こちらもしっかりと対応したいと思います。

(佐々木委員)

ありがとうございました。

(渡邊会長)

ありがとうございます。ほかにかがでしょうか。

1点情報提供をさせていただければと思います。先日、「ソトコト」という移住情報誌に関係する指出さんという方にお話を伺いまして、近年、2拠点居住という方が増えてきていらっしゃるということです。ですので、子育て世代に限らず、2地域でお住まいになれる方というのもしらっしゃるところも、少し端っこに視野に入れていただけるとありがたいなと思いました。

ほかにかがでしょうか。では、なければ、これで区政運営にかかわる評価についてを終わります。失礼しました。山口さん。

(山口委員)

すみません。ありがとうございます。私は、今日すごく勉強になったなと思うことが1点、建設課のSDGsとネーミングをつけただけで、学校の見方、保護者の見方が変わって人数が1,000人も増えたという数字で教えていただいて、やはりネーミングとかそういうのは時代に合わせてキャッチーにしていくことが効果があるのだなということ、今日、数字を聞いてとても勉強になりました。それが言いたかっただけです。ごめんなさい。ありがとうございます。

(区 長)

ありがとうございました。実は、春のクリーン作戦で公民館と区民生活課が窓口をし

ていまして、社会を明るくする運動という交通安全だったりもやっている団体の皆さんが手分けをしてやっけていまして、その各地区の事務局を誰がしているのかというのが実は味増だったのです。小学校、中学校の教頭先生がやっているのです。そうすると、異動して来た先生たちはこのクリーン作戦は何のためにやっているのかというのがそもそも分かっていないというか、知らないままに皆さん異動した4月に作業を始めているので、それで明確にこれはこういう理由ですよと、雪解けが終わるとごみが側溝、排水溝に溜まっていますよ、4月の末に田んぼのために阿賀野川から水が大量に流されてくると、そこが詰まっていると一気に溢れますよということをお伝えして、かつ、そのSDGsという言葉を入れたおかげで、先生方の動きが全然違いました。ということなので、おっしゃるとおりで、対象を絞ったおかげだったかと思います。

(渡邊会長)

ありがとうございます。新潟ならではの視点というところもありましたね。ありがとうございます。

ほかにございませんでしょうか。お願いいたします。杉田委員、お願いいたします。

(杉田委員)

新潟薬科大学の杉田です。今ほどSDGsの話があったので、それで考えたことを少し区長に。今、いろいろな企業の事業計画とか中期経営計画等を見ますと、大体のいわゆる大手の企業ですと、いろいろな事業計画の一番右側にSDGsの目標番号が書かれているというのが今の世の中で、例えばこのような、例えば先ほどの建設課だけではなくて、健康福祉課の一番上に書いてある障がい者理解講座などというものも、SDGsの何番だったか忘れましたけれども、SDGsの何番に該当するよと。これは、すべての、恐らくこのすべてテーマがSDGsの1から17の間のどれかに関係していると思うので、どこかにSDGsのマークを常に入れるようにすると、すべてのものがSDGs絡みなのだねということになると思います。新潟市役所が出されているような総合計画ではそうなっていますので、区役所のこういう表もそのようにされたらどうかなという意見です。

(区 長)

ありがとうございます。大いに活用したいと思います。

(渡邊会長)

ありがとうございます。ほかにはございませんでしょうか。よろしいでしょうか。ありがとうございます。それでは、これで区政運営にかかわる評価についてを終わります。

4 報告

(1) 秋葉区地区懇談会の開催について

(渡邊会長)

次に次第の4、報告に入ります。まず、(1) 秋葉区地区懇談会の開催について、高橋副区長よりご説明をお願いいたします。

(副区長)

よろしくお願いします。令和7年度の秋葉区地区懇談会の開催についてということですので。お手元の資料2をご覧ください。

区では、地域の皆様と地域課題の解決や地域づくりの推進について、意見交換の機会として区長と各所属長が毎年区内のコミュニティ協議会を訪問しています。コミュニティ協議会の皆様からは、地域課題の提出や日程の調整など、準備にご協力いただきまして、この場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございます。

資料の中ほど、3番の出席者の欄ですけれども、当日は、区役所から記載の職員が出席する予定としております。小須戸出張所長につきましては、小須戸コミュニティ協議会と山の手コミュニティ協議会の地区懇談会のみに出席とさせていただきまして、秋葉消防署長、新津地区公民館長、新津図書館長は、所管の地域課題があらかじめ寄せられた場合に出席させていただきます。

裏面をご覧くださいと思います。日程の一覧となっております。7月から8月にかけての開催となりますので、参考にしていただければと思います。今年度も忌憚のない意見交換を行いたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。以上です。

(渡邊会長)

ありがとうございます。ただいまのご説明について、ご質問はございませんでしょうか。よろしいでしょうか。なければ、これで秋葉区地区懇談会の開催についてを終わります。

(2) 区ビジョンまちづくり計画第1次実施計画の進捗について

(渡邊会長)

次に、(2) 区ビジョンまちづくり計画第1次実施計画の進捗について、高橋副区長よりご説明をお願いいたします。

(副区長)

それでは、今度は資料3をご覧くださいと思います。秋葉区区ビジョンまちづくり計画の進捗等について報告させていただきます。

令和5年度から12年度までの8年間のまちづくりの方針を示す秋葉区区ビジョンまちづくり計画を令和5年3月に策定し、2か年ごとの実施計画に基づき事業を推進しています。資料は、第1次実施計画と2年目となった令和6年度の事業について、進捗状況をまとめたものです。

まず1枚目につきましては、事業の達成度を集計した表になっています。区ビジョンまちづくり計画に定めた目指す区の姿の四つの項目ごとに、各事業の評価を達成度として「達成」「一部達成」「未達成」に区分し、その区分ごとに合計した事業数と割合を表示しています。一番下の欄にはそれらの総合計を掲載しており、「達成」が122事業91パーセント、「一部達成」が10事業7.5パーセント、「未達成」が2事業1.5パーセントとなりました。

資料を1枚めくっていただきまして、その次の横向きのページをご覧いただきたいと思います。これが17分の1となっていますけれども、1ページから17ページまでありまして、資料の見方としましては、左から事業名、概要、令和6年度の行程、数値目標という具合で並んでおりまして、第1次実施計画の令和6年度実績と評価を記載しております。1ページから17ページまでありますけれども、四つの目指す区の姿として「環境に配慮した潤いとやすらぎのあるまち」、「やさしさがあふれる楽しく元気なまち」、「歴史と個性を活かすまち」、「可能性を生み出し・育て・活かすまち」にそれぞれ分けて表示しております。

令和6年度に未達成となった事業につきましては、1ページ目の中段の5番「里山未来創造事業」でアキハマウンテンプレーパーク、先ほども出てきましたけれども、一日の平均利用者数が屋外活動であるために天候等の影響により目標に達しなかったというものです。同事業につきましては、13ページの93番にも再掲として同じものが載っておりますので、2事業としてカウントしております。その他の事業については、記載のとおりとなりますが、説明は省略とさせていただきます。報告は、以上です。

(渡邊会長)

ありがとうございました。ただいまのご説明について、ご質問等はございませんでしょうか。どうぞご遠慮なく。加納委員、お願いいたします。

(加納委員)

荻川コミ協の加納と申します。私、第1部会に所属しておりまして、こちらの未達成のマウンテンプレーパークの件で、「きらめきサポートプロジェクト」に毎年中央コミュニティ協議会から応募いただいているのですが、いかんせんほかの事業等を優先してしまっているという形もありまして、こちらの建設課のほうで担当もしていると

いう形ですので、正直言いまして、第1部会の「きらめきサポートプロジェクト」のほうで取り上げていくというようなことが正しいのか、建設課にお任せしたほうがいいのかというような、何かすごくその辺のもどかしさを感じるのですけれども、そちらのほうで建設課にお任せするというのであれば、ほかのきらサポに応募してくださるほうに注力していけるということもあるかと思うのですが、その点をお聞かせいただければと思っております。

(渡邊会長)

ありがとうございます。看板設置の関係のことでしょうか。中央コミュニティ協議会だと。

(渡邊会長)

建設課さん、いかがでしょうか。

マウンテンバイクなので、多分田家のほうかと思うのですけれども、そちらについて、建設課のほうで一緒にやっていただけるのであれば、きらサポで採択しなくてもいいのだけれども、どうでしょうかというご提案というか、ご質問かと思います。

(建設課)

マウンテンバイクのことでしょうか。マウンテンバイク。

(加納委員)

はい。

(建設課)

建設課でございます。ご質問ありがとうございます。すみません。そのマウンテンバイクなのですけれども、私が4月に来てまだ把握していませんので、もしだったら調べて、会長を通じて情報提供したいと思いますので、ありがとうございます。すみません。

(渡邊会長)

ありがとうございます。山口委員、お願いします。

(山口委員)

中央コミュニティ協議会の山口です。この中央コミュニティ協議会の管轄内の田家のマウンテンバイクフィールドがあるのですが、そこがもう少し地域の知名度と力と財力を借りてもっと賑やかにしていきたいということで、きらサポに、今年初めてではないと思うのです。過去何回かエントリーしているのですが、いろいろな理由で採択されないのはなぜかなと思いながら、田家の方々は知る人ぞ知るマウンテンサイクルフィールドなので、本当に大きな力で助けてくださるのであればすごくありがたいし、宙ぶらりんなのだったらどちらかということで、小野澤馨さんが一生懸命に願いを込めてエント

リーしておられますので、ぜひ早いうちに見てください。よろしくお願いします。

(建設課)

ありがとうございます。マウンテンバイクのコースもご存知なのですけれども、そこが、すみません、どこが活用しているのかというのが私は把握していなかったもので、その辺少し確認して、また回答させていただきますので、ありがとうございました。

(山口委員)

よろしくお願いします。ありがとうございます。

(渡邊会長)

ありがとうございます。では、佐々木委員、お願いします。

(佐々木委員)

大変申し訳ありません。マウンテンプレーパークのことについて、質問というか、希望といいますかなのですけれども、実は昨年、子どもたちが小学校の代休日に、無理を言いまして利用させていただきました。非常に子どもたちは喜びまして、理念というか、が素晴らしくて、自分でできないことはやってはいけないと、そして手助けをしてはいけないというようなことがありまして、私たち支援員とか、それからうちは縦割りで活動するので、高学年に低学年が登れないから助けてよ、抱っこしてよ、乗せてよなどということが常にあるのですけれども、その時ばかりは、子どもたちに、助けることがケガにつながるから助けてはいけないよというような指導がありました。そういうものが素晴らしいなど、私も活動を見ていてとても感動したのです。もう一回お願いしようと思ったら雨天で流れまして、こういうことが普段の保育園、幼稚園、そして小学校の子どもたちが活用できたらどんなに素晴らしいだろうと思ったのです。ですので、本当は親の責任で土日に連れて行くというのが一番ベストなのかもしれないのですけれども、平日、もしだったら気候のいいとき、小学校の野外活動ですとか、それから放課後児童クラブのこういう活動にぜひ開けていただけたら嬉しいですので、期間限定でもかまいませんので、どうか要望としてお願いいたします。

(産業振興課)

産業振興課です。どうも、ご意見ありがとうございます。昨年度なのですけれども、お試し体験という形で、平日開けさせていただいた日もございました。その際は、やはり園を開いていただけるプレーパークのスタッフの皆さんと相談させていただきながら、臨時開催というような形で対応させていただいていたので、今後、そういうご希望がありました、こちらとまずご相談させていただいて、プレーパークとも相談しながら対応できるように検討していきたいと思いますので、まずはこちらにお話をいただければな

と思っております。よろしくお願いいたします。

(佐々木委員)

ありがとうございます。

(渡邊会長)

ありがとうございました。インフラとしても大変有効かと思います。ありがとうございます。では、山口委員、お願いいたします。

(山口委員)

私は、この「わくわく石油楽習事業」、楽しく習うと書いて「がくしゅう」と読む、この素敵なネーミングがとても気に入っていて、先ほど副区長が読んでくださった資料の中は「学習」となっていたので、ネーミングはどうなってしまったのかなと思いながらドキドキして見たのですが、私、実際にこの見学の現場にたまたま出会ったことがありまして、秋葉区の子どもながらバスに乗って各地域から、順番なのだろうと思いますが、来ていました。そしてカメラマンもついて、まるで修学旅行のように写真も撮っていただきながら、サウジアラビアの力でリニューアルされた美しい石油館を、こういうのがあったのかというような喜びの目で6年生が、秋葉区の全6年生が、見てから中学校に行けるとするのは、この「わくわく石油楽習事業」の予算のおかげなのだなということを改めて知りました。このお金はどこから出ているのだろう、そして小学生が6年生までにここに一回、二回でも来ているということが、秋葉区の子どもが新津の石油が出ていたのだよということを何よりも簡単に知れる、素晴らしい学びを私は目撃させてもらいました。ですので、いろいろ厳しい時代だとは思いますが、この「わくわく石油楽習事業」は本当に意味が大きいと思って、ぜひ続けていただけたら嬉しいなと思って発現しました。よろしくお願いいたします。

(渡邊会長)

ありがとうございます。副区長からお願いいたします。

(副区長)

こちらに載っているのは6年度の事業でして、産業振興課のほうで対応していました。今年度につきましては、一部地域総務課のほうでもやっていた事業と統合しまして、地域総務課のほうで引き続き小学生に対するわくわく楽習という形で石油の文化を普及啓発という形で続けていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

(山口委員)

ありがとうございます。

(渡邊会長)

ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、これで区ビジョンまちづくり計画第1次実施計画の進捗についてを終わります。

(3) 区ビジョンまちづくり計画第2次実施計画について

(渡邊会長)

次に(3)区ビジョンまちづくり計画第2次実施計画について、高橋副区長よりご説明をお願いいたします。

(副区長)

続きまして、今度は資料の4をご覧くださいと思います。ホチキス留めの横の綴りになっております。区ビジョンまちづくり計画第2次実施計画として、令和7年度から8年度までの事業計画を策定しましたのでご報告いたします。基本的には、先ほど説明しました第1次実施計画と同様に、目指す区の姿の四つの項目ごとに事業を掲載しており、大半は引き続き実施するという事業になっております。個別の事業については記載のとおりとなるため、第2次実施計画の新規事業についてご説明いたします。

最初に7ページをご覧ください。42番の「アキハ移動式こどもの居場所づくり事業」です。コミュニティ協議会、小中学校等と連携しながら、既存施設を活用し、安心・安全に過ごせる新たな居場所づくりを行い、子どもたちにさまざまな遊びや学びを提供してまいります。

続いて17ページをお開きください。一番最後です。112番「新津金屋運動広場野球場スコアボードリニューアル」です。使用不能となっておりますスコアボードを改修し、大会開催に相応しい野球場とすることで、地域のスポーツ環境の充実に図っていきます。

以上が、令和7年度の新規事業となります。時間の都合上、その他の事業の説明につきましては省略させていただきます。以上です。

(渡邊会長)

ありがとうございました。ただいまのご説明について、ご質問はございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

なければ、これで区ビジョンまちづくり計画第2次実施計画についてを終わります。

(4) 第1回自治協議会会長会議について

(渡邊会長)

次に、（４）第１回区自治協議会会長会議について、私よりご報告させていただきます。

区の自治協議会会長会議、６月１０日に市役所の本館で開催されました。各会長から、特に特色ある区づくりについてどのような活動を行っているかということでご報告がありました。そこで、秋葉区の構成員ですとか、ほかの方々、ほかの区の構成員がどうなっているかというところの情報交換をさせていただいてきておりました。その際に、今後の研修について、本日の資料にもありますでしょうか。資料５をご覧くださいと思います。

詳しくは取り上げないのですが、各区の特徴が出ております。また、そこで出てきた内容としまして、区によっては半数が新しい委員になっているため、自治協議会とはそもそも何ぞやですとか、委員として何の役割があるのか分からないよねという話が出ておりました。ですので、全体研修会の一つとして、そもそも自治協議会がなぜつくられてきたのかですとか、どういう役割を担っているのかという学びを提供できたらいいのではないかというお話がございました。

皆さんのお手元に新潟地区自治協議会全体委員研修会の開催についてという用紙が、本日配布の資料にあるかと思うのですが、そちらはございますでしょうか。３枚になっておりまして、表の裏が地図が、会場案内図がついているものです。

こちらが、日時及び会場が９月５日金曜日、午後２時から４時となっております。会場としては東区プラザになっていて、全体の区の会長会議の際に、毎年話し合う情報交換の時間が短すぎるというお話が出ておりましたので、少し意見交換の時間が長く設定されております。各区ごとの取組をより知って自分の地域に活かしていただきたいということで、プログラムでは意見交換が多めとなっております。

そして、１枚めくっていただきまして、全体委員研修会のほうをご覧ください。こちらの中で、意見交換に三つテーマが出ております。第９期提案事業の中で希望の多かった事業ということで、それぞれの区の取組について、それぞれの区の事業の中でこの事業について聞いてみたいというご希望を聞きまして、それについてほかの区から参加した委員から聞いてもらおうというところです。そして二つ目は、なかなか自治協議会自体が、私、自治協をやっているのですと言っても、何でしょうかと言われることが多いので、そもそも認知度向上に向けた取組について皆さんで検討しませんかというところと、先ほどの意義・役割についてというお話になります。またここでアイディアが出ましたら、それを最後に全体で共有しましょうということです。こちらにつきまして、出欠報告につきましては、７月２５日金曜日、２５日金曜日の自治協議会のときに事務局

へご提出いただければと思います。3枚目についております出欠確認とテーマ選択を選んでいただきまして、ご提出いただければと思います。

ということで、ただいまの説明、分からないところだらけかもしれません。すみません。ですが、何かご質問等、今、この場で聞いておきたいこと等があれば、ぜひご遠慮なくいただければと思いますが、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。ありがとうございます。

では、これで第1回区自治協議会会長会議についてを終わります。

5 その他

(渡邊会長)

次に、次第の5、その他です。

それでは、私から1点ございます。机上配布しました第10期秋葉区自治協議会部会編成名簿をご覧ください。オレンジのラインが入っている名簿になっております。各部会のメンバー構成、そして部会長が決まりました。第1部会は小菅部会長、加納副部会長、第2部会は青木部会長、副部会長に山口委員、菅井委員の2名、第3部会は山崎部会長、板井副部会長、広報部会は保科部会長、中島副部会長、未来ビジョン部会は私と板井副部会長となりました。こども真ん中プロジェクトについては、まだ打ち合わせを行っていないため空欄のままとさせていただきます。

また、余談になりますが、前回各部会で決めたポロシャツのカラーについては、各部会第1希望の色で決まったそうです。第1部会はピンク、第2部会はオレンジ、第3部会はブルーとなりました。

それでは、これから各部会長に一言ごあいさつしていただきまして、部会ごとの活動報告をお願いいたします。第1部会、第2部会、第3部会、広報部会、未来ビジョン部会の順番でいきたいと思います。時間の都合により、ご質問はすべての部会が終わってからとさせていただきます。それでは、第1部会より、本日小菅部会長は欠席のようですので、副部会長からよろしくお願いいたします。

(加納副部会長)

第1部会の加納です。今年は小菅委員が部会長をやってくださいということで、副部会長を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

第1部会としましては、6月5日、きらサポ、今現在は9団体の申込みがございますが、この時点で4団体との意見交換会をいたしました。6月9日に未来ビジョンの申込みの中で4団体との意見交換会、それに伴いまして、本日、この9団体全部を採択した

いところではございますが、いろいろお金の制約等もございますので、第1部会の中で点数付けというとおこがまし過ぎるのですけれども、それだけではなくて、いろいろ話し合いでの協議の中で決めさせていただきまして、後日、説明会を受けて決定というような運びになっております。今現在、未来ビジョンにつきましては6団体の申込み、6コミ協からの申込みがきておりますので、まだ申込みされていらっしゃるコミ協は、皆さん、1部会の方、皆さんそれぞれ担当となっているわけですので、ぜひ取組を早くしていくということも必要かなと思いますので、よろしくお願いいたします。以上です。

(渡邊会長)

ありがとうございました。では、第2部会、青木部会長からお願いいたします。

(青木部会長)

皆さん、こんにちは。第2部会の青木と申します。よろしくお願いいたします。

第2部会から皆様のお手元に配布してあります第2部会報告資料、新潟日報、これを見ていただければよく分かるかと思います。私のつたない説明よりも、これを見ていただければ理解できるかと思います。先日、6月14日土曜日、午前中に第1部会並びに第3部会、それから区の職員の方からいろいろご協力いただきまして、文化会館において、秋葉区防災の日制定の記念セレモニーを執り行いました。当日は、秋葉区内でコミュニティ協議会の総会、あるいは運動会、あるいは防災訓練等、いろいろな行事がありました。その中でもあれだけ大勢の方に参加していただきまして、大変ありがたかったと思います。その結果、防災活動、あるいは災害における初期対応の研鑽、それから防災意識の向上など、非常に防災活動の初期の目的を達成することができました。本当にありがとうございました。

また、当日参加された方からアンケートをお願いしました。その結果、79パーセントの多くの方からの結果をいただきまして、その中で皆さんに関係する、参考になるものを三つほど紹介したいと思います。まず1点目が年代でございます。60から70の方が圧倒的に多くて、66パーセントでございました。2点目が内容についてでございます。大変よかったという方が20パーセント、やや満足された方が38パーセントということで、よかったという方が半数以上の58.7パーセントの方が喜んでくれました。ただ、不満足と答えられた方が7.9パーセントおられました。ということで、この方々の期待に添うような防災活動を考えていく必要があろうかなと、そのように思っております。それから、こういう防災活動、防災講演が必要であるか否かにつきまして、大半の方、88.9パーセントの方が必要だと答えてくれました。そういう関係で、これからも秋葉区民の皆様の期待と信頼に応え、災害に強い秋葉区をつくるべく、いろい

ろと防災活動をやっていききたいと、そのように思っております。以上で終わります。

(渡邊会長)

ありがとうございます。TAMiさんも写真に載っておられますね。ありがとうございます。第3部会、山崎部会長からお願いいたします。

(山崎部会長)

第3部会の部会長になりました山崎です。よろしくお願いします。

今年度の第3部会の活動予定は、本会議終了後の部会で話し合いたいと思いますので、よろしくお願いします。以上です。

(渡邊会長)

ありがとうございました。広報部会、中島副部会長、お願いいたします。

(中島副部会長)

広報部会です。部会長は所用がありまして欠席しておりますので、中島が代わりに報告をさせていただきます。

まず、先月の部会で新しく部会長に保科雅人委員が選任されました。現役の大学生、最年少ということでございまして、まさに秋葉区自治協の人気度、知名度、そしてプレゼンスを高めていくスポークスマンとして期待をしているところでございます。本人も大変意欲的でございます。よろしくお願いいたします。

かわら版、FM新津、「新津松坂流し」とございます。まず、かわら版です。自治協広報紙かわら版、37号の発行に向けまして、第1回目の部会で話し合われました。内容としましては、第10期を迎えて会長、副会長の抱負、そして各部会の活動紹介を予定しております。つきましては、会長、副会長、各部会長の皆様に原稿の作成をお願いいたします。追って事務局から連絡があるかと思っておりますので、ご対応をよろしくお願いいたします。また、紙面には、今日、皆さん、お手元でございますアキハスムポロシャツを着用した全体写真を入れたいと考えております。これを着まして、今日の本会議終了後に写真を撮りたいと思っておりますので、ご協力よろしくお願いいたします。

次、FM新津でございます。毎月第2水曜日正午からFM新津で放送しておりますラジオ版「あきはくはつものがたり」についてです。次回の放送が7月9日水曜日12時からになります。再放送が12日の土曜日9時からとなります。このときは、第2部会の山口委員、神田員にご出演をお願いしております。先ほど青木部会長からございました6月14日秋葉区防災の日制定記念行事をフィーチャーする予定でございます。それから、8月の放送分については、第2部会から若月委員、そして広報部会から高橋委員に出演をお願いしたいと思っております。よろしくお願いいたします。そして、FM新津で

放送されております20秒CMについてでございます。こちらにつきましては、各部会でCMを使ってぜひPRしたいというイベントを出し合っていたきたいと思っております。本会議終了後の部会でご検討をぜひお願いいたします。

最後に、「新津松坂流し」でございます。自治協のPR活動の中で毎年参加しております。今年も「松坂流し」に参加しますので、委員の皆様からのご参加をお願いします。また、少し不安なのだよなという方もいらっしゃるかと思いますので、来月の本会議前に踊りの講習会を行います。詳しくは、本日配布しております案内文をご覧くださいまして、出欠の報告を7月11日金曜日までに事務局へご提出をお願いします。8月16日ですね、開催の予定となっております。広報部会からは以上です。

(渡邊会長)

ありがとうございました。未来ビジョン部会、板井副部長、お願いいたします。

(板井副部長)

未来ビジョン部会の副部長を務めます板井です。よろしくお願いいたします。

未来ビジョン会議では、各コミュニティ協議会で策定したアクションプランの実現に向けて取組を募集しています。6月9日に各コミュニティ協議会を対象とした意見交換会を実施しました。この交換会には、小須戸コミュニティ協議会、満日コミュニティ協議会、小合コミュニティ協議会、山の手コミュニティ協議会が参加して、それぞれ今年度の取り組みの予定とか、あとは不安なことはないかとかのヒアリングをいたしました。参加したコミュニティ協議会の今年度の取組予定を聞いたところ、フリースペースの開放や継続的な事業実施に向けた勉強会の開催などが予定されていまして、持続可能な地域づくりに向けての動きが見て取れました。事業募集は6月16日から既に開始しておりまして、複数の団体から応募をいただいております、これらを未来ビジョンで検討していきたいと思っております。今後も引き続き皆さんにも共有していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。以上です。

(渡邊会長)

ありがとうございました。ただいまの件につきまして、ご質問等はございますでしょうか。よろしいでしょうか。

先ほど広報部会より8月の「松坂流し」についてご案内がございました。ぜひ皆さん、自治協議会としてお揃いのポロシャツを着て「新津松坂流し」に出ていただければと思います。また、来月の本会議前、12時30分から講習会を行いますので、奮ってのご参加をお願いいたします。

ほかにございますでしょうか。お願いいたします。青木委員、お願いいたします。

(青木委員)

お願いなのですが、今の机の配置ですよね。というのは、この前、FM新津に行かれたとき、新しい机の配置はどうですかと聞かれたのです。ということで、私は本当は嫌なのだけれども、知らない人に嫌だと言えないから、顔が見えていいですよと言ってきたのですが、嫌なのです。というのは、顔が見えないじゃないですか。発言される、発表される方の顔も見えない、だからこの配置は変えて、前のようにして皆さんの顔が見える、そういう配置にお願いできないかなと、そういうお願いです。以上です。

(渡邊会長)

貴重なご意見ありがとうございます。前回、青木委員から、この場所は嫌だと直接お伺いしました。嫌だと言いながらいいということなのかなと理解して、すみませんでした。今後検討させていただきまして、また逆にこのほうが、申し訳ないのですが、私もから見てコの字になっているというのが圧迫感があるというところもありまして、この形にさせていただいたのですが、試験的ということですので、ご意見賜りまして検討させていただきます。ありがとうございます。

ほかの方はいかがでしょうか。青木さんが言った後だと。いかがですか。加納さん、ぜひ。

(加納委員)

加納です。私からですと、景色はすごくよく見えていいのです。ですが、振り向かないと、どちらにどなたがいらっしゃるかがというのが全然分からないのですよね。私も青木さんの意見に賛成です。あまり好きではないです。

(渡邊会長)

ありがとうございます。お願いいたします。

(山口委員)

ありがとうございます。席の関係は、いろいろ一長一短あると思うのですが、今、意見を言ってくださったのが一番前のかぶりつきの席だから、逆に苦しいのかもしれないので、中でシャッフルしたらどうですか。全体ここでなくても、青木さん、後ろの方に行ったらあまり言わないかもしれない。一回、次のステップとして、シャッフルというのはどうですか。青木さん、あちらこちらとか、そうするとまた景色が変わって、近いのはいいなというのものもあるかもしれません。チャレンジしてみてもどうでしょうか。

(渡邊会長)

ありがとうございます。おっしゃるように、場所がこのような形になっているのはほ

かのところもあって、西蒲区はおっしゃるように来たときに自由に自分で座るというスタイルだそうです。

お願いします。荒井さん、お願いします。

(荒井委員)

荒井でございます。最初、一番最初にこれやって、皆さんでフリートーキングがありましたね。あれは非常によかった。初めてで、初めての新しい方とお話しできたし、何をやって、どういうのをやりたいですかみたいな話もやって、それは非常によかったと思うのですが、これがずっと続くとなると、少し大変だなという感じ、ともかく知り合ったことが2回チェンジしてやったわけですから、かなりの人とお話できた。それはよかったです。ですけれども、これがずっと続くのは、私もうーんという感じがいたします。考えてください。

(渡邊会長)

貴重なご意見ありがとうございます。では、また次回、また考えさせていただいてということで、お願いいたします。

ほかにいかがでしょうか。お願いいたします。長谷川委員、お願いいたします。

(長谷川委員)

未来ビジョンのテーマの締切りはあったのでしょうか。新しいテーマの締切り。それからもう一つ、路線バスの件なのですが、路線バスの時間とかコースの見直しというのは、あれは定期的にやっていくのでしょうか。年に何回とかというように決まっているのでしょうか。その辺、私どもの団体の方で、いつもそういう話が出ていて、今いろいろ話をしているところなのですが。

(長谷川委員)

バス時刻表の話。区バスではなくて下新線。

(長谷川委員)

下新線。時間の問題とコースの問題、見直しですね。

(地域総務課)

地域総務課企画グループの加藤と申します。秋葉区内のほうには、区バス、あと金津線、そして下新線が運行しております。今、我々の施策といたしましては、ワンコインバスという形で運行しておりまして、またいろいろなニーズがあるとか、要望等がございますので、そちらにつきましては、第2部会で公共交通を担当しておりますので、そちらの方と協力しながら、ダイヤであったりルートであったり、検討していきたいと考えております。以上でございます。

(区 長)

年明けに交通会議をやるじゃないですか。翌年度の時刻表を変えるという、その話を
してあげないと、いつまでに話をすればいいか分からないと思うのですが。

(長谷川委員)

私どもの要望を、いつ、どこまで提出すればいいのかということです。

(区 長)

北陸信越運輸局というところが最終的に決めるので、市の都市交通政策課を主管として
各区でこのようにバスの、例えば路線を見直すとか、時刻を変えるとか、そういう要
望を聞く会議が年明けにあります。それをもって春のダイヤを変えるということになる
ので、年内で地域の話をもとめていただいて、それまでに例えばアンケートでしたり、
あるいは金津地区がそうだったのですけれども、本庁の都市交通政策課を呼んでどのよ
うにやればいいのかという相談もできますので、ぜひリクエストを加藤係長にさせていただ
くと設定できますので、お願いいたします。

(渡邊会長)

ありがとうございます。それと、先ほど未来ビジョンの締切りというお話が出ていた
かと思うのですが、締切りは確かなくて、随時だったと思います。事業の締切りが確か
2月末でしたでしょうか。3月末でしたでしょうか。そこが決まっているということであ
りましょうか。よろしく願いいたします。ほかにいかがでしょうか。

では、続きまして、健康福祉課長より「アキハ移動式こどもの居場所について」ご報
告がございますので、よろしく願いいたします。

(健康福祉課長)

皆さん、こんにちは。秋葉区健康福祉課の南場と申します。私から、若干お時間をい
ただきまして、事業の周知をさせていただきたいと思えます。

先月の自治協議会でも少しお話しさせていただいたのですけれども、「アキハ移動式
こどもの居場所づくり事業」ということで、秋葉区の組織目標、あとは区ビジョンまち
づくり計画の中でもありましたとおり、今年度、秋葉区が目玉事業と私は勝手に思っ
ているのですけれども、いよいよ来週金曜日、7月4日にスタートすることになりました。
本日、お手元にこちらのカラー刷りの資料をお配りさせていただきました。こちらの資
料をご覧くださいませ。1枚目は事業の全体の周知チラシとなっております、2枚
目につきましては、7月4日に特化したチラシとなっております。

まずは、カラー刷りの1枚目の資料なのですけれども、「アキハ移動式こどもの居場
所づくり事業ワクワク金津広場」ということで、こどもたちが安心して過ごせる居場所

を、今年度は金津地区で試行的に実施するという事業になっております。この「ワクワク金津広場」というネーミングなのですけれども、実は金津小学校にご協力をお願いしまして、小学校6年生の方に、居場所という事業をやるので、できればこどもたちからネーミング、愛称を考えてほしいというような依頼をかけましたら、全部で16のアイディアといいたいまいしょうか、案を出していただきまして、その16の中から実際に小学生、中学生から三つに絞っていただきました。そして、金津コミュニティ協議会の案と私も行政の案、全部で五つの案を、今度は金津小学校の1年生から6年生、全校児童に対してアンケートといいたいまいしょうか、この中でどの愛称がいいでしょうかというアンケートを取りまして決定したのが、この「ワクワク金津広場」というネーミングになりました。この「ワクワク金津広場」は、小学校6年生が考えてくれた案となっております。

実際には、中ほどですけれども、運動遊びでしたり、集団遊び、個別遊びということで、いろいろな遊びを当日準備する予定となっております。左下の開催日なのですけれども、第1回開催日ということで、令和7年7月4日金曜、午後3時から5時30分までという2時間半を設定しております。会場につきましては、金津地区コミュニティセンターで行います。初回の開催ということで、14時50分、午後2時50分からオープニングセレモニーを行う予定となっております。

裏面なのですけれども、一応年間の開催スケジュールを載せさせていただきました。月1回、基本的には、平日であれば第1金曜日の夕方を基本といたしまして、あとは8月は夏休みになりますので午前と午後の2部開催で1日開催、あと第7回、第8回が冬の開催ということで、こちらは第2土曜日の午前・午後の1日開催を予定しております。会場につきましては、金津地区のコミュニティセンター中ホール、そして10月、11月については、金津小学校の体育館を予定しております。

もう1枚のチラシなのですけれども、こちらについては、7月4日に特化したチラシとなっております。裏面には、7月4日にこういう遊びを計画していますという周知の内容となっております。

一応、基本的なルールといたしましては、この表面の一番下「ワクワク金津広場受付表」という、こちらの表を必ずこどもたちに持って来ていただきたいと考えております。一番下の右側、緊急連絡先、こどもたちに何かあった場合に親御さんと連絡が取れるようにということで、この緊急連絡先を聞くためにも、当日必ずこの用紙を忘れずに持って来てくださいというような周知をしております。基本的なルールなのですけれども、食べ物については、食中毒の関係もありますので、食べ物については基本持ち込まないでくださいと。飲み物については、当然熱中症の危険もありますので、飲み物について

は必ず持参してくださいというお願いになっております。

こちらのチラシなのですけれども、昨日、金津小学校の全校児童に配布をお願いして、今日、金津中学校に全校生徒に配布をお願いしてきました。小学校、中学校ともに、保護者へのメールというのもお願いしてきましたので、小学校については早ければ昨日届いているのかもしれないですけれども、小中学校にそのように周知をさせていただきました。

何分、今年度初めて行う新規事業になっておりますので、実際にどのくらいのお子さんたちが来てくれるかというのは当然課題といいましょうか、不安な点でもあるのですけれども、できれば、私どもとしては、こちらの事業、来年度も続けていきたい、金津地区以外でも広めていきたいと考えておりますので、今日、お集まりの各コミュニティ協議会の皆様方、未来ビジョンで特にこどもの居場所を掲げているコミュニティ協議会の皆様方には、もしご都合がつけば7月4日、7月4日でなくても大丈夫ですので、見学に来ていただければと考えております。どうかよろしくお願いいたします。

(渡邊会長)

ありがとうございます。ただいまの件につきまして、ご質問等はいかがでしょうか。山崎委員、お願いいたします。

(山崎委員)

金津中学校地域教育コーディネーターの山崎です。

このチラシが小学校、中学校に配布していただいたということで、ありがとうございます。内容は、私も理解していないと、校長先生とか学校の先生に質問されたときに分からないと困るなと思って質問させてください。前回、コミセンのほうで聞いたかもしれないのですけれども、「ワクワク金津広場」から自宅までは学校管理下（下校）ではありませんと書いてあるので、学校から金津のコミセンの会場までは学校管理下ということで間違いなかったでしょうか。

(健康福祉課長)

ご質問ありがとうございます。山崎さんがおっしゃるとおりでございます。学校から金津コミセンまでは、下校扱いと小学校から言われております。ひまわりクラブと同じ扱い、同じ考え方と聞いておりますので、それで間違いございません。

(山崎委員)

ありがとうございました。

(渡邊会長)

ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。

私から1点お伺いというか、確認をさせていただきたいのですが、一番後ろのページの左下ですね。保護者の皆さんへの枠、水色の枠の上から四つ目です。お子さんの安全管理は保護者の責任ですと、お子様から目を離さないでくださいとあるのですが、これは、お子さんと親御さん同伴に限ってなくて、これはきっと乳幼児に限った事柄なのかなと思うのですが、そういう理解で合っていますでしょうか。

(健康福祉課長)

ご質問ありがとうございます。分かりづらい資料で申し訳ございません。その意味合いでございます。あくまでも乳幼児については保護者同伴をお願いしておりますので、乳幼児については保護者の方に目を離さないようにというお願いになります。

(渡邊会長)

ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

では、すみません。順番が前後して申し訳なかったです。長崎区長よりご報告がございますので、お願いいたします。

(区 長)

私からは、秋葉区コミュニティ連絡協議会総会、秋葉区長あいさつという資料をもとに少しお話しをさせていただきます。情報提供ということで耳を貸していただければと思います。

明日、秋葉区内の11コミ協の連絡会の総会がありまして、そこで私から情報提供するために作成した資料ということになります。二つ表題としてありますけれども、一つは、11コミ協の総会に出させていただきました。一つだけ重複したので行けなかったところがありましたけれども、総会資料を確認し、その10参加したコミュニティ協議会の総会の結果として書かせていただいたのが、すべからくコミュニティ未来ビジョンの記載が総会資料にはありましたということでございます。こどもたちの提案、声を、PTA保護者とともに実現してくださいということを、明日、会長はじめ役員の方々に再度周知させていただくということです。

2つめのぼち印が特徴的な話でありまして、それを皆さんに伝えたかったのです。代議員、役員に女性、あるいは保護者世代が増えたなというのが、昨年も感じたのですが、今年はさらに多く見えました。特に矢印の先ですが、コミ協の副会長の女性の数が倍になっていました。昨年度は三つのコミ協で3人の女性の副会長が11コミ協、区内の現状だったのですが、今年の総会に出てみますと、五つのコミ協で副会長が6人に増えておりました。ということは、概ねその方々は大体未来ビジョンに参加し、かつ担当として未来ビジョンをやられる方が概ねだなという印象だったのです。

ということは、こども、若者を含めて参加しやすい環境づくりが進んだなと思っております。ちなみに、今日、この会場にそのうち3人おられます。金津コミ協の山崎さん、小須戸コミ協の板井さん、荻川コミ協の加納さんがまさに副会長でありますので、コミ協との連携ないしはこども真ん中というのに進められるなということを実感しております。明日、また11コミ協の皆さんにお伝えします。

2点目です。秋葉区役所の施策、取組の方向性ということで、「健康長寿で多世代交流こども真ん中の秋葉区づくり」とさせていただいておりますが、去年は冒頭のところが災害に強くということで書かせていただいております。①の取組も、実際は災害に強くの内容だったのですけれども、それを多世代交流とさせていただいているのは、実質老若男女が参加する形で一つ目の一斉クリーン作戦もそうですし、二つ目の一斉防災訓練も実施されているということです。今回、昨年お知らせしたものと変えて一斉防災訓練のアンケートの結果を今回は載せさせていただきました。もともとの背景としては、2年前の1月、水道管が凍結するという、実際はならなかったのですけれども、そのための周知を区役所がコミ協ないしは自治会を通じてしようとしたのですが、実質のところはできなかったという実例があります。あるコミ協に連絡したところ、直接自治会に連絡してくれと言われたところがありまして、秋葉区内には何百という自治会が実はあるものですから、とてもじゃないけれどもできなかったというのが正直なところなのです。今回の防災訓練でも、アンケート結果からは、情報連絡体制があるところ、これは能登半島地震を経て追加したところも実際あります。ですけれども、まだできていないところが複数あるということが、区としては問題だなと、課題だなと思っていたところです。それはなぜかと言うと、特に象徴的な話で申し上げますと、課題の深掘りの3番目です。先週の水曜日に、熊が草水地区と新関の大関、新郷屋地区で目撃されておりましたけれども、その連絡、7時台に見つかったので8時台になってから防災メールとその関連する地区の自治会長に連絡をしたのですが、実際、連絡がつかなかったということがありまして、これについては、該当するコミ協たちに連絡をさせていただいて、協議する機会をつくろうと思っております。該当するのは六つ、七つのコミ協なのですけれども、秋葉山に接しているコミ協ですね。その中で連絡網を持っているところと持っていないところがやはりありまして、そうすると、持っていないところは区の職員が手分けをして連絡をするという体制がある一方で、連絡網があるところは、防災メールで分かっているからしなくてもいいよと。一応はするのですけれどもね。確認のために。ということで、対応が非常に、実は11コミ協それぞれに特徴があって、かなり職員が苦勞しているものですから、そういうこともあってこの事例を検証する意味で、コミ協た

ちと連絡網についての協議を今後始めさせていただきます。

米印は、蛇足になりますけれども、秋葉区に避難所が全部で43あるのですけれども、そのうち半分避難所運営委員会というものができていない状況がありまして、100パーセントできているところは4コミ協あるのに対して、まったくできていないところもあるものですから、実際に避難をしようとしたら、マネジメントする人がいないという状況が実は見えている。これも平行して働きかけをしながら進めているところです。

②番目、こども真ん中の話、先ほど健康福祉課長からもありましたけれども、こどもの居場所づくりについては、本当に各コミ協から自習室をはじめ居場所づくりをつくっていただいて、本当に感謝しております。今年度もさらに取り組むところがいくつか伺っておりますので、ご期待申し上げますということと、区内の移動の円滑化、先ほど新関コミ協の長谷川さんからもご質問がありましたけれども、昨年の取組が非常によかったのですけれども、まだまだ伸びしろがあるということは組織目標でも書かせていただいたとおりで、後ほど少し説明をします。裏面について。

今日、皆様方にお話ししたかったのは、児童館の話であります。6月16日、先週の月曜日に市長とスマイルトークに参加された方は直接聞かれたと思うのですけれども、その1週間前に市長にレクをしました。恐らくこういう質問がありますと。それに対してはこのように回答してくださいという話の中で、私から6月10日に1万6,000筆の児童館についての署名が市に持って来られますと。市長宛てに持って来ますという話がありまして、ただ、市長は万博にその日対応する業務があったので、こども未来部長が受け取るということになっていたのですけれども、どうもそれを市長は知らなかったらしくて、そうなのかねという話になりまして、私が帰った後に市長が担当部長や副市長を呼んで、来週それを発表するという方向がそこで出たと伺っております。ですので、当日も質問された方はたくさんおられましたけれども、直接市長に言いたかったという、その署名された方々が多数ご発言をされていまして、終わってから伺いましたけれども、突然だったので目が点になったという人も、あるいは頬っぺたをつねり合っただけは本当だったのだろうかと確認をされたと聞いていましたけれども、事実でありまして、新聞にも報道されたとおりであります。今、議会中ですので、議会が終わったら、ここに書きましたが、こども政策課が区役所に相談に来ると聞いておりますので、いよいよ既存施設を使っただけの児童館の整備の準備が始まります。

このことを念頭に置いていたわけではありませんが、自治協議会の中にこども部会をつくっていただいたのは、まさにこういうことを既存の施設でしたかったという思いがありましたので、皆様方にもぜひご意見ですとか、場合によっては先行施設を見に行っ

てもいいと思って私はいます。新しくできる燕のところであるとか、柏崎や三条や、いろいろなところがいろいろな形でこどものための居場所づくりをしておりますから、本当に皆さん方の熱意だったりお考えを児童館に反映していただければいいと思います。ちなみに、今度金津でやるこちらは、児童館ができないので、本当に頑張って健康福祉課が取り組んで来週から実施しますけれども、将来的にはそういうものも連携をして、相互に有効的に活動ができればいいなと思っております。

長々となりましたけれども、最後に裏面を見ていただきたいと思います。左側は一斉クリーン作戦SDGsトライの話なので、これはお話ししましたので割愛しまして、右側が今年も4月から実施しているワンコインバスであります。右下のグラフを見ていただくとお分かりのとおり、非常に下新線、金津線、ご貢献をいただきまして、3路線合わせて4,246人乗客が増えております。そのうち学生が3,654人、約8割強子どもたちが乗っていただいたおかげで数字を押し上げたということであります。ということで、ぜひ下新線、金津線もさらに見直しをしていただければと思っておりますし、第2部会の皆さん方からも、特に区バスが少し伸びしろが弱いかなと思っております。また、説明させていただきましたけれども、令和7年度の組織目標で学生の利用4,400人と確か書いていたと思いますので、かなりチャレンジングな目標になっております。ぜひ第2部会のお力もお借りしながら、さらに移動しやすい秋葉区にしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございます。

(渡邊会長)

ありがとうございます。ただいまの件につきまして、ご質問等はございますでしょうか。よろしいでしょうか。

ではつづきまして、新津地区公民館の盛山館長よりご報告がございますので、よろしく願いいたします。

(新津地区公民館長)

皆さん、こんにちは。新津地区公民館の館長の森山と申します。お手元の配布資料で、令和7年度秋葉区芸能祭というA3を二つ折りにしたものがございますが、そちらをご覧くださいと思います。

年に一度の祭典「秋葉区芸能祭」でございます。6月29日の日曜日、今度の日曜日です。午前10開演で、秋葉区文化会館のホールで行います。入場無料となっておりますし、申し込みも必要ございません。区内で活動する民謡やダンス、吹奏楽などの団体の皆さんから日頃の成果を披露していただきます。練習を重ねた皆さんの踊りや演奏をお楽しみいただきたいと思います。芸術文化のすばらしさを披露していただくとも

に、生涯学習活動の楽しさが伝わる機会となればよいなと思っております。披露される踊りや民謡、古典芸能、ダンスなど、多彩な演目の数々なのですけれども、観客の皆様、見る方がいてはじめて見て聞いて楽しんでいただくことで会場の一体感が生まれますので、どうぞ豊かな人生のために多くの方のご来場をお願いしたいと思っております。

広報にチラシを配布しているのですが、それだとイメージが伝わりにくいので、今回、この当日配布のプログラムを自治協議会の委員の皆様にお配りさせていただきました。開いていただきますと、当日の部門、団体名、演目がそれぞれ書かれております。これだけ多彩なジャンルの皆様からご出演いただくのですけれども、当日、その団体を紹介するフレーズをいくつかここで先行してお話ししたいと思っております。No. 7 番でござ唄というものがあります。かつて盲目の少女たちが生きるためにござになることを決めました。三味線を携え、唄い、決まった村々で娯楽や情報として唄を語りました。私たちさずきもんの師匠、萱森直子は、長岡、高田両系統のござ唄を直接伝授を受けた唯一の歌い手です。今回は、高田ござの門付け唄、かわいがらんせ、と古調佐渡おけさを唄わせていただきます。同じ唄でも歌い手により異なる面白さをどうぞお楽しみください。続いては、No. 14 のフラダンスです。フラハラウプアラニさんです。1 曲目、ヘナニモキハナは、ハワイ諸島の中でもっとも古く雨の多いカウワイ島に咲くモキハナの実はとてもよい香りがします。そのモキハナのすばらしさを歌っています。2 曲目、プアアアリイは、ハワイ島マウナケア山は標高 4,205 メートルありまして、冬には頂上に雪が積もります。冷たい空気と強い風にも負けず咲く花、アアリイを讃えた局です。という紹介がありまして、右側のほうに移りますと、No. 19 番で皆様おなじみの新津松坂がございまして、先ほど松坂流しの宣伝、募集がございましたが、よいお手本を見る絶好の機会でございますので、新津松坂のスタートが大体午後 3 時 5 分くらいとなっておりますので、ご来場いただければ専門家の踊りと演奏をご堪能いただくことができます。そして、一番最後が新津第二中学校の吹奏楽部の演奏で終わりということで、昨年は一中の皆さんだったのですが、回り順番で今年は二中の順番ということで披露いただきますので、お時間のある方はぜひ秋葉区文化会館に足を運んでいただければ幸いです。以上です。よろしくお願いいたします。

(渡邊会長)

ありがとうございました。豊かな人生のためにということですので、ぜひご参加いただければと思います。ただいまの件につきまして、ご質問はございますでしょうか。加納委員、お願いします。

(加納委員)

加納です。手前味噌な形になるかと思いますが、最後の第二中学校の吹奏楽部、昨年度、北関東大会で確か準優勝していたかと思います。ぜひ、皆さん、お聞きいただければと思っております。お願いいたします。

(渡邊会長)

ありがとうございます。そのほか、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

では、続きまして、教育支援センターの金子所長より、教育委員会の主な事業にかかわるアンケート結果についてのご報告がございますので、よろしくお願いいたします。

(教育支援センター所長)

教育支援センターの金子です。2点あります。資料は、上に5月教育ミーティング令和7年度教育委員会の主な事業と書かれたプリントになります。

先月、長く時間をいただきまして、教育委員会の今年度の施策の説明をさせていただきました。ありがとうございました。その際、質問、意見のアンケートを紙で取らせていただいて、感想、意見につきましては、その後、教育委員会の関係課にお渡しさせていただきました。その中で1点質問として、秋葉区での地域クラブ活動の進捗についての質問がありましたので、それにつきましては、教育支援センターと地域総務課、文化スポーツグループでこれまでの取組をつくらせていただきましたので、その内容をご覧いただければと思います。

地域クラブにつきましては、まだまだ動きの中にあります。引き続き学校、各競技団体、文化団体への支援、情報共有が必要だと思っていますし、真ん中辺りのところに書かせていただきましたけれども、この自治協議会においても定期的に進捗をお伝えさせていただいております。今後も定期的にお伝えさせていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

2点目です。その紙の裏面をご覧ください。これも前回お話しさせていただきました、8月7日秋葉教育懇談会についてです。すでに申し込みをいただいた方もおります。ありがとうございます。先回もお話ししましたが、今年度、これまでにない区のビジョン、こども真ん中の秋葉づくりを受けて、初の試みとなります。8区の中でも初の試みとなりますが、中学生が当日参加して、区内の中学校は6校ありますが、最初、順番に1校ずつ地域の課題、地域の未来に向けた発表をしてもらいます。1校5分として考えて、6校ありますからそこで30分、その後、第2部では、中学生と地域の大人がこれからの地域づくり、自分たちの地域に向けてグループワークをするというような計画で進めております。そこに大きく書かせていただきましたけれども、現在、中学生は25名か

ら30名が参加の予定になっています。やはり各中学校、生徒会の子たちで3年生が多いということ、それから女子の参加が多くなっていることが目立ちます。締め切りが30日、この土日明けの次の土曜日になっております。再度、ギリギリでの催促をさせていただきました。ぜひ、ご都合がつけば参加いただければと思います。よろしくお願いします。以上です。

(渡邊会長)

ありがとうございました。ただいまの件について、ご質問はございますでしょうか。

(高橋委員)

阿賀浦コミ協の高橋です。5番目に別紙参加申込書に必要事項を記入しうんぬんとありますけれども、別紙参加申込書というのはどこかに添付されてあるのでしょうか。

(教育支援センター所長)

失礼いたしました。質問をありがとうございます。参加申込につきましては、今回、しつこく2回目、3回目と案内させていただいておりまして、その紙にはついていないというような状況になっております。もしよければですが、今日、お帰りのときに3階の35番、教育支援センターに寄っていただきましたら、申込書がたくさんありますので、そこでお書きいただいてそのままご提出ということも可能ですので、もしよければそれをお願いしたいと思います。

(渡邊会長)

ありがとうございます。よろしいでしょうか。高橋委員、よろしいでしょうか。

(高橋委員)

はい、ありがとうございました。

(渡邊会長)

ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。

では、ほか、委員の皆様で何かございますでしょうか。

では、すみません。私から1点お知らせです。黄色のチラシをお手元にお配りさせていただいているかと思います。こちら、プリズンサークルといいまして、犯罪を犯したかた、初犯の方、2回目の方が社会に復帰するためにどのような学び、話し合いの場が必要かということで、刑罰ではなく、治療的に話し合うような場があることによって社会にも円滑に回復して戻っていけるだろうという取組を日本で初めて行っている、裏側を見ていただきますと、島根にあさひ社会復帰促進センターというものがございます。その刑務所の取組についての上映会となっております。今、不適切な養育を受けているお子さんが増えてきております。こちらの刑務所に入っている方々の語りの中にも自

分が不適切な養育を受けてきたという語りをぼつぼつと語る方がいらっしゃいます。そういう社会をなくしていきたいということで、こちらを開催させていただきますので、もしお時間の合う方がいらっしゃいましたら、ぜひご参加いただければと思います。

それでは、ほかにございますでしょうか。

それでは、来てすぐで申し訳ないのですが、保科委員、今日が初ということですので、ごあいさつをお願いしてもよろしいでしょうか。

(保科委員)

皆さん、こんにちは。まず、遅刻してしまい大変申し訳ございませんでした。講義の関係上、この時間から来ることが今年ではできなかったのも、申し訳ありませんでした。

新潟薬科大学で学友会執行委員会会長をやっております、応用生命科学部生命産業ビジネス学科3年の保科雅人と申します。よろしくお願いします。こういう会は初めてで、青二才でペイペイなのでお役に立てるか分かりませんが、この場にいらることを嬉しく思います。皆さん、よろしくお願いいたします。

(渡邊会長)

ありがとうございました。ほか、委員の皆様で何かご発言等はございますでしょうか。

では、これで議事を終了したいと思います。進行を事務局にお返しいたします。

6 閉会